

令和8年度 第2回 浜松市立伊目小学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和8年6月16日(火) 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 伊目小学校 会議室
- 3 出席委員 影山純市、加茂俊武、白柳和義、白柳雅臣、袴田雄大、
伊藤和音、山本憲司
- 4 欠席委員 加茂 繁、中村浩丈、久保直人
- 5 オブザーバー なし
- 6 学校支援コーディネーター 欠席
- 7 学 校 吉川麻利子(校長)、辻村真一(教頭)
- 8 教育委員会 なし
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CS ディレクター 鈴木明良
- 11 議長の選出及び前回会議録確認

前回議事録について、辻村教頭から手元資料により説明があり、全員これを確認し、承認した。また議長については、影山委員に一任する発言があり、全員これを承認した。

- 12 浜松市学校運営協議会目標の確認
辻村教頭から説明があり、全員これを承認した。

- 13 協議事項
 - (1) 授業について
 - (2) これからの PTA より課題等について
 - (3) (2) について意見交換・発表

- 14 会議記録
辻村教頭から委員総数 10 名のうちの 7 名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 授業について

3、4 年生のタブレットの授業について、将来役に立つ等、好意的な意見が多く見られた。その反面タブレット操作時の姿勢が気になるとの意見があった。体育館での授業については、5、6 年生が学年差や違和感なく授業を受けていたという意見があった。

(2) 学校・PTA 課題等について

① 不登校について

吉川校長から、市内の不登校傾向の児童が増加している現状について話があった。原因は様々であるため、担任を中心として保護者と連絡を密に取り合って連携を深め、何ができるかということと一緒に考え、一人一人に寄り添ったアプローチを進める必要があるとの話があった。特に、学習については、個に応

じた対応を行うことや、子供が興味をもっている活動を個別に提案し、実施するなど、学校とのつながりを保つことが必要であるとの説明もあった。

委員からは、学校全体で情報を共有し、子供達を見守ることが必要であるとの意見があった。また、保護者との連携は重要であるとの意見もあった。

②スマホ等のメディア利用について

吉川校長から、別添資料のとおり説明があった。昨年は、メディアを使わなくても遊べる遊びを紹介したり、PTA 総会でスマホの危険性を講演したりした。

委員から、家庭でスマホを自分の部屋に持っていかせない等、保護者の理解や対応も必要という意見が上がった。

15 その他報告事項等

・生き生き学校（遠泳）について

辻村教頭から、生き生き学校の進捗状況、拡大委員会について、別紙資料に基づいた説明があった。

・引き渡し訓練（美咲台）について

吉川校長から、別紙資料に基づいた説明があった。

・ポーランド舞踊団来校について

吉川校長から、別紙資料に基づいた説明があった。

・夏休み伊目っ子応援企画（お盆の灯籠作り）について

辻村教頭から、例年同様子供たちの参加を呼びかけ、実施する旨報告があった。

・伊目大運動会について

辻村教頭から、別紙資料に基づいた説明があった。

辻村教頭から、次回会議は令和8年12月4日（金）13時30分～15時30分に会議室で開催する旨報告があった。